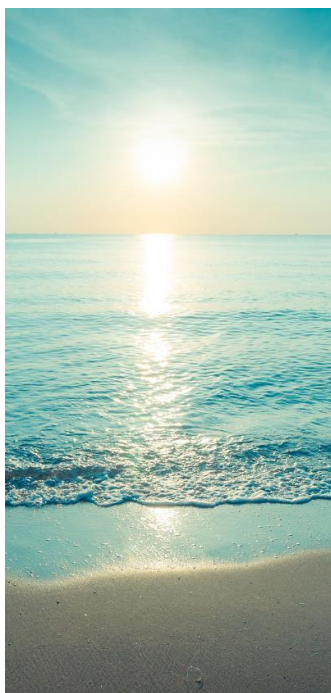




2025年3月期 第3四半期 決算説明会

2025年2月4日
BIPROGY株式会社



2025年3月期 第3四半期（累計） 連結経営成績

- ✓ 売上収益は、サービス、製品販売ともに好調を維持し増収、販管費の増加を吸収し営業増益
- ✓ 受注高・受注残高ともに、着実に案件を獲得し増加。年度内売上予定分も順調に拡大

	2024年3月期 3Q累計	2025年3月期 3Q累計	前年同期比		
売上収益	2,589	2,793	+204	(+7.9%)	(売上収益) 顧客企業のIT投資需要が堅調に推移し、サービス、製品販売ともに増収
売上総利益	687	727	+40	(+5.8%)	(営業利益) 増収に伴う売上総利益増益が販管費の増加をカバーし営業増益
販管費	△450	△484	△34	(+7.5%)	・ 売上総利益：増収に伴い増益。システムサービス、アウトソーシングの収益性低下等により売上総利益率は若干の低下
持分法による投資損益/その他の収益・費用	5	9	+4		・ 販管費：基幹システム刷新や人事制度変更の影響等によるコストが増加（社内システム費 12億円増、人件費 11億円増）
営業利益	241	252	+10	(+4.3%)	・ 持分法投資損益/その他の収益・費用：海外関連会社の業績が好調に推移し増益
(営業利益率)	(9.3%)	(9.0%)	(△0.3pt)		(当期利益) 法人税の増加等により減益
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	182	175	△7	(△3.9%)	(受注高・受注残高) 製品販売、サポートサービス、アウトソーシングの受注拡大により受注高・受注残高ともに増加
調整後営業利益*	236	243	+6	(+2.7%)	
(調整後営業利益率)	(9.1%)	(8.7%)	(△0.4pt)		
受注高	2,512	2,816	+305	(+12.1%)	
受注残高	2,662	2,922	+260	(+9.8%)	
(うち、年度内売上予定)	787	866	+79	(+10.1%)	

*調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販管費及び一般管理費

まずはじめに、2025年3月期 第3四半期決算概要についてご説明します。

売上収益は、引き続きお客様のIT投資への投資需要が堅調に推移し、サービス、製品販売ともに好調に推移し、前年同期比204億円増収の2,793億円となりました。

利益面では、基幹システム刷新や人事制度変更などにより販管費が増加したものの、増収による売上総利益の増益により、営業利益は前年同期比10億円増益の252億円、調整後営業利益は6億円増益の243億円となりました。

当期利益は、法人税の増加等により7億円減益の175億円となっております。

受注は、製品販売やサポートサービス、アウトソーシングを中心に順調に推移し、受注高、受注残高ともに増加しており、年度内売上予定分も拡大しています。

2025年3月期 第3四半期（累計）セグメント別売上／利益の状況

【セグメント別 売上収益／売上総利益(利益率)】

(単位:億円)

	2024年3月期 3Q累計		2025年3月期 3Q累計		前年同期比	
	売上収益	売上総利益 (利益率)	売上収益	売上総利益 (利益率)	売上収益	売上総利益 (利益率)
システムサービス	920	317 (34.5%)	935	319 (34.1%)	+14 (+1.6%)	+2 (+0.6%) (Δ0.3pt)
サポートサービス	402	126 (31.4%)	428	143 (33.4%)	+26 (+6.5%)	+17 (+13.3%) (+2.0pt)
アウトソーシング	550	123 (22.4%)	624	134 (21.5%)	+73 (+13.3%)	+11 (+8.7%) (Δ0.9pt)
その他サービス	83	19 (22.5%)	84	20 (23.7%)	+1 (+1.0%)	+1 (+6.6%) (+1.3pt)
ソフトウェア	245	35 (14.1%)	282	37 (13.1%)	+37 (+15.0%)	+2 (+6.9%) (Δ1.0pt)
ハードウェア	387	66 (17.1%)	439	73 (16.7%)	+52 (+13.6%)	+7 (+10.4%) (Δ0.5pt)
合計	2,589	687 (26.5%)	2,793	727 (26.0%)	+204 (+7.9%)	+40 (+5.8%) (Δ0.5pt)

（システムサービス）

前期迄の大型かつ高採算案件の開発一巡の影響があったものの、幅広い業種から中小規模案件を多数獲得し、増収増益

（サポートサービス）

製品販売が好調に推移していることに伴い、増収増益

（アウトソーシング）

「BankVision on Azure」の新規稼働や、他社クラウドサービス(前年同期比 売上20億円増)およびITOなどの運用サービスの拡大等により増収増益。売上総利益率は、他社クラウドサービス売上の増加や複数サービスの機能強化コストの発生等により低下

（ソフトウェア）

官公庁向け大型案件や幅広い業種向けの中小型案件を計上したことにより増収増益。売上総利益率は、一部低採算案件の影響等により低下

（ハードウェア）

官公庁向け大型案件を複数計上したことや、ネットワーク関連ビジネスが好調を維持し増収増益

続きまして、セグメント別の売上収益、売上総利益の状況について説明します。

システムサービスは、引き続き幅広い業種のお客様におけるDX案件が堅調に推移し、増収増益となりました。
前期迄の大型かつ高採算案件の開発一巡の影響により、前年同期比では売上高、売上総利益ともに微増に留まっておりますが、案件パイプラインは順調に積み上がっており、コンディションは徐々に改善しております。

アウトソーシングは、他社クラウドサービスやITOサービスが引き続き好調に推移したことや、「BankVision on Azure」において新規ユーザーの稼働を開始したことなどにより、増収増益となりました。
売上総利益率は、他社クラウドサービスの売上拡大やサービスの機能強化コストが発生したことなどにより、低下しています。

ソフトウェアおよびハードウェアの製品販売は、ユニアデックスにおいてネットワーク構築関連等の大型案件を複数計上したことや、中小型案件が増加したことなどにより、増収増益となっております。

2025年3月期 第3四半期（累計）セグメント別受注高および受注残高の状況

【セグメント別 受注高】

（単位：億円）

	2024年3月期 3Q累計	2025年3月期 3Q累計	前年同期比
システムサービス	926	939	+13 （+1.4%）
サポートサービス	365	449	+84 （+23.1%）
アウトソーシング	434	512	+78 （+18.0%）
その他サービス	95	90	△5 （△5.1%）
ソフトウェア	271	314	+43 （+16.1%）
ハードウェア	421	512	+90 （+21.4%）
合計	2,512	2,816	+305 （+12.1%）

【セグメント別 受注残高】

（単位：億円）

	2024年3月期 3Q末		2025年3月期 3Q末		前年同期末比	
	受注残高	うち、年度内 売上予定	受注残高	うち、年度内 売上予定	受注残高	うち、年度内売上予定
システムサービス	369	254	374	251	+5 （+1.3%）	△4 （△1.4%）
サポートサービス	420	119	501	127	+81 （+19.3%）	+8 （+6.5%）
アウトソーシング	1,476	161	1,616	232	+140 （+9.5%）	+71 （+44.0%）
その他サービス	60	27	69	25	+9 （+14.9%）	△3 （△9.7%）
ソフトウェア	106	83	123	86	+17 （+16.1%）	+3 （+3.6%）
ハードウェア	230	142	239	146	+9 （+3.8%）	+4 （+2.8%）
合計	2,662	787	2,922	866	+260 （+9.8%）	+79 （+10.1%）

（システムサービス）

金融、小売等、幅広い業種の顧客企業のIT投資需要に的確に対応し、中小型案件を着実に獲得

（サポートサービス）

官公庁向けネットワーク構築案件を複数件受注したことに加え、好調な製品販売に伴い順調に増加

（アウトソーシング）

第1四半期の金融機関向け更改案件、第3四半期の製造業等向け他社クラウドサービス案件の計上、中小型案件の獲得により受注高が大幅に増加

（ソフトウェア）

第2四半期および第3四半期に官公庁向けネットワーク構築案件を計上したこと等により増加

（ハードウェア）

官公庁向けネットワーク構築案件を複数件計上したことや、中小型案件獲得が堅調に推移し増加

続きまして、セグメント別の受注高、受注残高について説明します。

受注高は、第3四半期にサポートサービス、製品販売で官公庁向け大型案件を計上したことや、アウトソーシングで製造業向け等の他社クラウドサービス案件を計上したことなどにより、前年同期比で増加しました。

受注残高も引き続き堅調に拡大しており、年度内売上予定分も積み上がっております。

なお、第3四半期のシステムサービス受注高は、幅広い業種のお客様からの中小型案件を着実に獲得でき、前年同期を上回る受注高となりました。4Q、次年度に向けて受注を見込む大型案件も多数あることから、それらを着実に受注し、売上収益の拡大を図ります。

2025年3月期 第3四半期（累計） 注力領域（コア事業）の進捗

【注力領域(コア事業) 売上収益／営業利益(利益率)】

	2024年3月期 3Q累計		2025年3月期 3Q累計		前年同期比		2024年3月期 通期		2025年3月期 通期 目標		前期比	
	売上収益	営業利益 (利益率)	売上収益	営業利益 (利益率)	売上収益	営業利益 (利益率)	売上収益	営業利益 (利益率)	売上収益	営業利益 (利益率)	売上収益	営業利益 (利益率)
ファイナンシャル	312	29 (9.2%)	316	30 (9.6%)	+4 (+1.3%)	+2 (+5.7%) (+0.4pt)	432	37 (8.6%)	455	44 (9.6%)	+23 (+5.3%)	+7 (+18.1%) (+1.0pt)
リテール	159	14 (8.7%)	172	15 (8.7%)	+13 (+8.4%)	+1 (+7.9%) (Δ0.0pt)	232	21 (9.0%)	245	25 (10.2%)	+13 (+5.6%)	+4 (+19.0%) (+1.2pt)
エネルギー	131	20 (15.5%)	133	17 (12.6%)	+2 (+1.3%)	Δ4 (Δ17.6%) (Δ2.9pt)	182	25 (13.6%)	190	28 (14.5%)	+8 (+4.2%)	+3 (+11.1%) (+0.9pt)
モビリティ	188	25 (13.1%)	223	27 (12.1%)	+35 (+18.7%)	+2 (+9.3%) (Δ1.0pt)	267	35 (13.2%)	285	40 (14.0%)	+18 (+6.8%)	+5 (+13.3%) (+0.8pt)
OTインフラ	116	9 (7.6%)	116	14 (12.0%)	+0 (+0.1%)	+5 (+57.2%) (+4.4pt)	182	11 (6.1%)	190	12 (6.5%)	+8 (+4.4%)	+1 (+11.2%) (+0.4pt)
合計	906	96 (10.6%)	960	103 (10.7%)	+54 (+6.0%)	+6 (+6.7%) (+0.1pt)	1,296	129 (10.0%)	1,365	149 (10.9%)	+69 (+5.4%)	+20 (+15.7%) (+0.9pt)

(注) 注力領域における一部ビジネスの利益算出方法を変更。第1四半期および上期の適及修正数値はP12、13を参照ください。

【2025年3月期 3Q進捗状況】

- ファイナンシャル： 「BankVision on Azure」の新規ユーザー適用を着実に遂行中。バンキングアプリ「#tsumuGO mobile」の採用が拡大中
- リテール： リテール基幹システム「CoreCenter for Retail」の大型案件が着実に進行中。電子棚札や自動発注サービスの採用が拡大中
- エネルギー： 小売電気事業者向けサービス「Enability」が大手事業者にて稼働開始。環境価値管理サービス「Re:lviz」の採用が拡大中
- モビリティ： 自動運転サービスの社会実装や鉄道会社向け決済事業支援が順調に進行中。物流領域では、WMS(倉庫管理システム)にて引き合いが活況
- OTインフラ： 大手重機メーカー、大手化学メーカー向けのOTコンサルティングに加え、大手自動車メーカーの工場インフラ案件を獲得。OTセキュリティ領域へ拡大の見込み

続きまして、経営方針で定めた注力領域の状況についてご説明します。

まずはじめに、「コア事業」における注力領域の進捗をご説明します。

コア事業では、当社グループが強みをもつ5つの注力領域を設定し、目指す姿に向けた事業戦略に沿って、サービスの拡大、顧客基盤の強化に取り組んでいます。各領域において、当社グループが提供するさまざまなサービスの利用が着実に拡大しており、お客様からの引き合いも強い状況です。

引き続き、さらなるサービスの拡充やセールス強化を推進し目標達成を目指すとともに、コア事業における注力領域を拡大させることで強固な事業基盤を確立し、成長事業での新たなビジネスの創出につなげていきたいと考えております。

なお、今第3四半期決算において、各領域に配賦すべき管理会計上の全社コストを見直した結果、ファイナンシャルおよびリテール領域の前期、今期の利益額を修正しております。

2025年3月期 第3四半期（累計） 注力領域（成長事業）の進捗

【注力領域(成長事業) 売上収益】				(単位:億円)		
	2024年3月期 3Q累計	2025年3月期 3Q累計	前年同期比	2024年3月期 通期	2025年3月期 通期 目標	前期比
市場開発	26	33	+7 (+26.0%)	35	50	+15 (+43.0%)
事業開発	17	30	+13 (+73.5%)	35	45	+10 (+28.0%)
グローバル	16	28	+12 (+74.0%)	25	40	+15 (+63.1%)
合計	60	92	+32 (+52.8%)	95	135	+40 (+42.7%)

【2025年3月期 3Q進捗状況】

市場開発：新たなサービス領域・シェアの獲得／拡大

- ・【AI/データ活用】製造業や社会インフラ企業を中心に、生成AI開発支援サービスの採用拡大
- ・【マネージドサービス】ユニアデックスにおいて新サービス実装に向けた取り組みやセキュリティ関連サービスの強化などを実施

事業開発：社会DX事業の共創と展開の加速

- ・【SX/GX】企業における環境マーケティングを促進するサービス「EPI(Earth Performance Indicator)」を提供開始
- ・【スマートライフ】デジタルマネープラットフォーム「doreca」のデジタル給与領域におけるフルアウトソーシング開始
- ・【地域創生】柏の葉スマートシティで生まれた都市OSを神戸市全域において導入

グローバル：ASEAN主要国におけるビジネスの展開と北米等マーケットへアプローチ強化

- ・子会社化したASEAN地域でSAPソリューションを提供する2社へ出向者を差し入れ、PMIを開始

次に、「成長事業」の進捗についてご説明します。

成長事業では、新たな収益の柱となることを目指し「市場開発」、「事業開発」、「グローバル」の3つの領域で、将来の成長に向けた施策に取り組んでいます。

「事業開発」領域においては、社会課題の解決につながるさまざまなサービスの提供を開始しており、また、提供するサービスの領域も徐々に拡大しています。売上収益も順調に伸長していることから、取り組みの成果が着実に現れてきていると考えております。今後も、さらなる成長加速のため、他社との共創なども視野に入れながら、ビジネス拡大に取り組んでいきます。

2025年3月期 通期業績予想

変更あり

✓ 第3四半期までの進捗状況をふまえ、売上収益予想を上方修正

	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 通期予想	(単位:億円)	
			前期比	
売上収益	3,701	3,950	+249	(+6.7%)
売上総利益	972	1,014	+42	(+4.3%)
販管費	△634	△664	△30	(+4.8%)
持分法による投資損益/その他の収益・費用	△5	5	+10	
営業利益	333	355	+22	(+6.6%)
(営業利益率)	(9.0%)	(9.0%)	(△0.0pt)	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	252	245	△7	(△3.0%)
調整後営業利益*	338	350	+12	(+3.5%)
(調整後営業利益率)	(9.1%)	(8.9%)	(△0.3pt)	
1株当たり年間配当金	100	100	+0	(+0.0%)
中間配当金	45	50	+5	(+11.1%)
期末配当金	55	50	△5	(△9.1%)
配当性向	(39.8%)	(41.0%)	(+1.2pt)	

*調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

最後に、2025年3月期の通期業績予想についてご説明します。

第3四半期までの進捗および足元の事業環境等をふまえ、通期の売上収益の見通しを、期初予想から100億円増額の3,950億円に上方修正いたします。

売上収益や年度内売上予定の受注残高は増加しましたが、足元では、製品販売が好調に推移するものの利益貢献は限定的であることや、人件費や営業支援費等の販管費費消が増加していること、高採算案件の年度内売上計上が現時点で不確定であることなどを考慮し、利益面の見通しは期初公表値を据え置いております。

なお、社内システム刷新については、第2四半期決算発表の際に、現時点の見通しやリカバリプランへの移行についてご説明しましたが、現在、新体制にて今後の対応方針やスケジュール、コスト見通しを検討しております。

4月の決算発表の場では、皆様に改めてご説明する予定ですが、現時点では今期の業績に大きく影響を及ぼすコスト増加は想定しておりません。

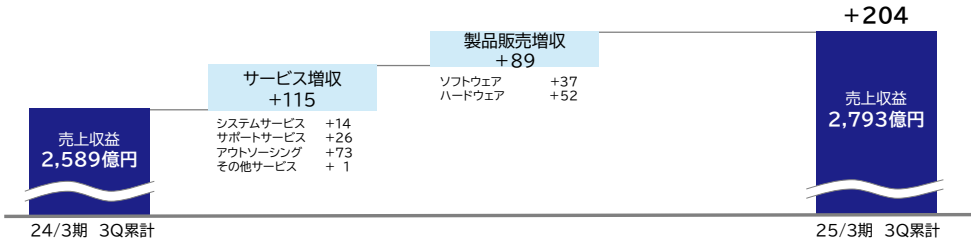
引き続き、期末に向け案件獲得に注力するとともに、コスト費消のモニタリングを強化し、通期見通しの達成に留まらず、さらなる上積みも目指したいと考えております。

ご説明は以上です。ご清聴ありがとうございました。

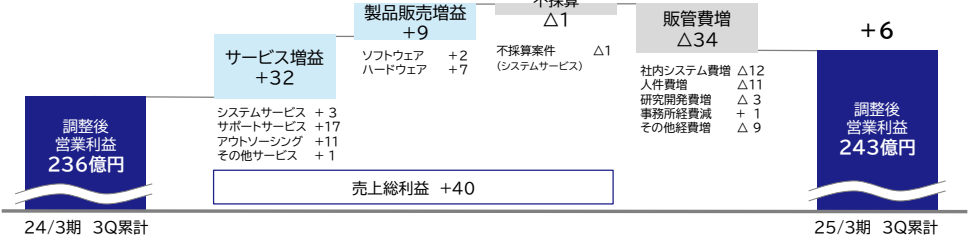
(参考) 2025年3月期 第3四半期 (累計) 実績 増減分解

【売上収益の増減分解】

(単位:億円)



【調整後営業利益の増減分解】

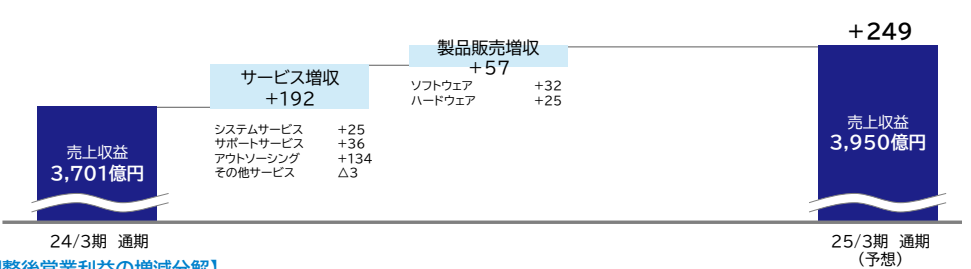


(参考) 2025年3月期 通期業績予想 増減分解

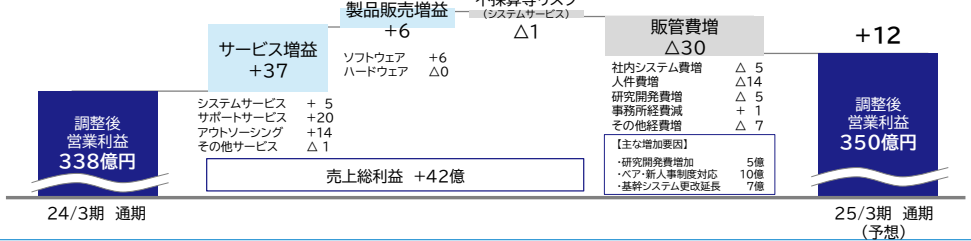
変更あり

【売上収益の増減分解】

(単位:億円)



【調整後営業利益の増減分解】



(参考) 2025年3月期 第3四半期 (10-12月) 連結経営成績

(単位:億円)			
	2024年3月期 3Q(10-12月)	2025年3月期 3Q(10-12月)	前年同期比
売上収益	859	932	+73 (+8.5%)
売上総利益	225	240	+15 (+6.7%)
販管費	△153	△170	△16 (+10.6%)
持分法による投資損益/その他の収益・費用	4	2	△2
営業利益	75	72	△3 (△3.7%)
(営業利益率)	(8.7%)	(7.7%)	(△1.0pt)
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	53	57	+4 (+6.7%)
調整後営業利益*	71	70	△1 (△1.7%)
(調整後営業利益率)	(8.3%)	(7.5%)	(△0.8pt)
受注高	849	938	+90 (+10.5%)

*調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販管費及び一般管理費

(売上収益)
アウトソーシングおよび製品販売を中心に伸長し増収

(営業利益)
増収により売上総利益が増益となった一方で、販管費の増加、その他収益の減少等により営業減益

- ・売上総利益:増収に伴い増益も、アウトソーシングの収益性低下や製品販売における一部低採算案件の影響等により売上総利益率は若干低下
- ・販管費: 基幹システム刷新や人事制度変更、研究開発および営業活動強化等に係るコストが増加
(社内システム費 3億円増、人件費 3億円増、研究開発費 4億円増、営業支援費 4億円増)
- ・持分法投資損益/その他の収益・費用:
持分法投資損益は横ばいもその他の収益が減少

(当期利益)
営業減益となるも、海外ファンド評価損益や為替影響等による金融収益の増加により当期利益は増益を確保

(受注高)
アウトソーシングおよび製品販売を中心に受注が拡大

(参考) 2025年3月期 第3四半期 (10-12月) セグメント別売上／利益の状況

【セグメント別 売上収益／売上総利益(利益率)】						(単位:億円)	
	2024年3月期 3Q(10-12月)		2025年3月期 3Q(10-12月)		前年同期比		
	売上収益	売上総利益 (利益率)	売上収益	売上総利益 (利益率)	売上収益	売上総利益 (利益率)	
システムサービス	320	107 (33.4%)	329	112 (34.1%)	+9 (+2.8%)	+5 (+4.9%)	(+0.7pt) -
サポートサービス	137	43 (31.5%)	146	48 (32.8%)	+9 (+6.3%)	+5 (+10.9%)	(+1.3pt) -
アウトソーシング	178	40 (22.6%)	197	43 (21.9%)	+19 (+10.5%)	+3 (+6.9%)	(△0.7pt) -
その他サービス	29	6 (21.5%)	27	6 (21.5%)	△2 (△8.0%)	△1 (△8.3%)	(△0.1pt) -
ソフトウェア	71	8 (11.5%)	82	8 (10.2%)	+10 (+14.3%)	+0 (+1.7%)	(△1.3pt) -
ハードウェア	124	20 (16.1%)	153	23 (14.8%)	+29 (+23.8%)	+3 (+13.7%)	(△1.3pt) -
合計	859	225 (26.1%)	932	240 (25.7%)	+73 (+8.5%)	+15 (+6.7%)	(△0.4pt) -

(システムサービス)
前期迄の大型かつ高採算案件の開発一巡の影響があるものの、幅広い業種から中小規模案件を多数獲得し、増収増益。なお、3Qの不採算案件はなし

(サポートサービス)
製品販売が好調に推移していることに伴い、増収増益

(アウトソーシング)
「BankVision on Azure」の新規稼働や、他社クラウドサービス(前年同期比 売上4億円増)およびITOなどの運用サービスの拡大等により増収増益。売上総利益率は、他社クラウドサービス売上の増加や、複数サービスの機能強化コストの発生等により低下

(ソフトウェア)
官公庁向け大型案件の計上などにより増収増益。売上総利益率は、一部低採算案件の影響等により低下

(ハードウェア)
官公庁向け大型案件を計上したことや、ネットワーク関連ビジネスが好調を維持し増収増益。売上総利益率は、一部低採算案件の影響等により低下

(参考) 2025年3月期 第3四半期 (10-12月) セグメント別受注高の状況

【セグメント別 受注高】

(単位:億円)

	2024年3月期 3Q(10-12月)	2025年3月期 3Q(10-12月)	前年同期比
システムサービス	296	298	+3 (+0.9%)
サポートサービス	123	141	+18 (+14.6%)
アウトソーシング	154	189	+35 (+22.6%)
その他サービス	30	33	+3 (+9.7%)
ソフトウェア	102	108	+5 (+5.4%)
ハードウェア	144	170	+26 (+18.0%)
合計	849	938	+90 (+10.5%)

(システムサービス)

前年同期に大型案件を複数件計上したものの、金融、サービス業等を中心に中小型案件を獲得でき、前年同期比プラスを確保

(サポートサービス)

官公庁向けネットワーク構築案件の計上に加え、好調な製品販売を背景に中小型案件が積み上がり増加

(アウトソーシング)

製造業等向け他社クラウドサービス案件計上などにより増加

(ソフトウェア)

官公庁向けネットワーク構築案件を計上したこと等により増加

(ハードウェア)

官公庁向けネットワーク構築案件を計上したことや、中小型案件の増加等により拡大

(参考) 遡及修正版 : 2025年3月期 第1四半期 注力領域 (コア事業) の進捗

【注力領域(コア事業) 売上収益／営業利益(利益率)】

(注) 注力領域における一部ビジネスの利益算出方法を変更。赤字が1Q決算発表(2024年7月29日)時点からの変更箇所

(単位:億円)

	2024年3月期 1Q(4-6月)		2025年3月期 1Q(4-6月)		前年同期比		2024年3月期 通期		2025年3月期 通期 目標		前期比	
	売上収益	営業利益 (利益率)	売上収益	営業利益 (利益率)	売上収益	営業利益 (利益率)	売上収益 (利益率)	営業利益 (利益率)	売上収益 (利益率)	営業利益 (利益率)	売上収益	営業利益 (利益率)
ファイナンシャル	99	9 (9.6%)	95	5 (5.5%)	△4 (△4.4%)	△4 (△44.4%)	432	37 (8.6%)	455	44 (9.6%)	+23 (+5.3%)	+7 (+18.1%)
リテール	47	5 (11.3%)	53	4 (6.6%)	+6 (+13.1%)	△2 (△32.0%)	232	21 (9.0%)	245	25 (10.2%)	+13 (+5.6%)	+4 (+19.0%)
エネルギー	42	5 (11.2%)	47	5 (9.9%)	+5 (+12.1%)	△0 (△1.3%)	182	25 (13.6%)	190	28 (14.5%)	+8 (+4.2%)	+3 (+11.1%)
モビリティ	59	9 (14.9%)	68	8 (11.8%)	+9 (+14.4%)	△1 (△9.8%)	267	35 (13.2%)	285	40 (14.0%)	+18 (+6.8%)	+5 (+13.3%)
OTインフラ	35	2 (6.8%)	34	4 (12.6%)	△1 (△1.7%)	+2 (+83.0%)	182	11 (6.1%)	190	12 (6.5%)	+8 (+4.4%)	+1 (+11.2%)
合計	281	30 (10.8%)	296	26 (8.7%)	+15 (+5.2%)	△5 (△16.0%)	1,296	129 (10.0%)	1,365	149 (10.9%)	+69 (+5.4%)	+20 (+15.7%)

【2025年3月期 1Q進捗状況】

ファイナンシャル: 大型案件の開発一巡の影響等により売上収益は減少。2024年5月より「BankVision on Azure」で4行目の稼働を開始

リテール: 小売業向け電子棚札やEC向けプラットフォームサービス「DIGITAL' ATELIER(デジタルアトリエ)」の利用が拡大

エネルギー: エネルギー系企業のDX案件、および、電力小売クラウドサービス「Enability」が堅調に推移

モビリティ: 金融・流通業界で培った知見を活かし、鉄道会社向け決済関連サービスの適用を開始。ドライブレコーダーも引き続き堅調に推移

OTインフラ: 既存顧客に対し、OTセキュリティ&ネットワーク領域でアプローチ中。顧客の投資意欲は高くパイプライン増加傾向

(参考) 遡及修正版：2025年3月期 上期 注力領域（コア事業）の進捗

【注力領域(コア事業) 売上収益／営業利益(利益率)】												(注)注力領域における一部ビジネスの利益算出方法を変更。赤字が上期決算発表(2024年11月1日)時点からの変更箇所				(単位:億円)	
	2024年3月期 上期(4-9月)		2025年3月期 上期(4-9月)		前年同期比		2024年3月期 通期		2025年3月期 通期 目標		前期比						
	売上収益	営業利益 (利益率)	売上収益	営業利益 (利益率)	売上収益	営業利益 (利益率)	売上収益	営業利益 (利益率)	売上収益	営業利益 (利益率)	売上収益	営業利益 (利益率)					
ファイナンシャル	207	22 (10.6%)	203	18 (9.1%)	△4 (△1.9%)	△3 (△15.9%)	432	37 (8.6%)	455	44 (9.6%)	+23 (+5.3%)	+7 (+18.1%)					
リテール	105	11 (10.3%)	115	10 (8.4%)	+10 (+9.4%)	△1 (△9.3%)	232	21 (9.0%)	245	25 (10.2%)	+13 (+5.6%)	+4 (+19.0%)					
エネルギー	88	14 (15.4%)	93	13 (13.6%)	+5 (+5.4%)	△1 (△7.5%)	182	25 (13.6%)	190	28 (14.5%)	+8 (+4.2%)	+3 (+11.1%)					
モビリティ	125	19 (15.3%)	154	21 (13.5%)	+28 (+22.6%)	+2 (+7.9%)	267	35 (13.2%)	285	40 (14.0%)	+18 (+6.8%)	+5 (+13.3%)					
OTインフラ	78	5 (6.7%)	78	10 (12.3%)	+1 (+1.3%)	+4 (+85.9%)	182	11 (6.1%)	190	12 (6.5%)	+8 (+4.4%)	+1 (+11.2%)					
合計	603	71 (11.7%)	643	71 (11.0%)	+40 (+6.6%)	+0 (△0.7pt)	1,296	129 (10.0%)	1,365	149 (10.9%)	+69 (+5.4%)	+20 (+15.7%)					

【2025年3月期 上期進捗状況】

- ファイナンシャル： 2024年5月に「BankVision on Azure」が新規ユーザーにて稼働開始。大型案件の開発一巡や前年同期の高採算案件計上の影響等により減収
- リテール： 小売業向け電子棚札やDX開発案件が好調に推移。ECプラットフォーム「DIGITAL' ATELIER(デジタトリエ)」の利用も順調に拡大
- エネルギー： 電力会社向けDX関連の開発案件やネットワーク案件が堅調。電力小売クラウドサービス「Enability」のユーザーが継続的に増加
- モビリティ： 鉄道会社向け非交通事業のシステム実装案件は順調な進捗。自動運転サービスの社会実装に向けた活動を強化中
- OTインフラ： 自動車産業を中心に工場のOTセキュリティ&ネットワーク領域の検討・導入が進んでおり、既存顧客へのアプローチを強化

本資料に記載の会社名、商品名および商標は、各社の商標または登録商標です。

(注意)
本資料における将来予想に関する記述は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。実際の結果は、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予想と異なる可能性があり、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。